

会 議 録

平成22年11月29日調整

審議会等名	第1回 三条市子ども読書活動推進計画策定委員会		
公開の別	公開		
開催日時	平成22年11月24日(水) 午前10時～正午		
開催場所	三条市立図書館2階 視聴覚室	傍聴者	無
出席者氏名	出席委員 宮島委員、小林委員、五十嵐委員、田村委員、		
	高橋委員、六原委員、太向委員、滝澤委員		
	事務局 宗村市民部長、金子課長、長谷川主査、三巻主任		
	報道機関 三條新聞社		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長の選出について 2 策定委員会の今後のスケジュールについて 3 子どもの読書活動に関するアンケートとその結果について 4 第1次計画期間における取組・成果と課題について 5 第2次計画における基本方針について 6 その他 		
発言者	発言内容等		
事務局	議題の1 会長の選出までの間、事務局側で進行を務める。 初めに、開会の挨拶を宗村部長よりお願いしたい。		
市民部長	(あいさつ)		
事務局	それでは、第2次三条市子ども読書活動推進計画策定委員会の第一回目の会議に入る前に、順次自己紹介をお願いしたい。		
	(自己紹介)		
事務局	議題1、会長の選出について、資料No.1、「三条市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱」の第4条第2項により、「会長は委員の互選により決定し、副会長は会長が委員の中から指名する」ことになっているので、適任の方のご推薦をお願いしたい。		
小林委員	図書館協議会委員でもある、宮島委員に引き受けていただければと思う。		
	(拍手)		
事務局	今ほど、小林委員の宮島委員推薦のご意見に皆さんから拍手をいただいたが、同意がいただけたということで、宮島委員に会長をお願いしたい。		
宮島委員	精一杯努めさせていただきたい。		
事務局	副会長は会長が指名することになっているので、宮島会長、副会長の指名をお願いしたい。		

宮島会長	六原委員に副会長をお願いしたい。
六原副会長	宮島会長のもとがんばりたいので、よろしくをお願いしたい。
宮島会長	次第に沿って進めたい。議題2 策定委員会の進め方と検討事項について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(資料2 会議スケジュール案について説明) なお、策定を進めるにあたり、「作業部会」を設けたい。事務局案としては、宮島会長、六原副会長、五十嵐委員、滝澤委員をお願いしたい。
宮島会長	事務局の説明について質問、ご意見をお願いしたい。 質問がないようなので、承認して良いか。
	(異議なし・拍手)
宮島会長	では、議題3「子どもの読書活動に関するアンケートとその結果について」と議題4「第1次計画期間における取組・成果と課題について」、この二つについて事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(資料5、6で説明)
宮島会長	質疑に入りたい。
六原副会長	すまいるランドの隣に図書館の栄分館ができたことで、小さい子どもが本に触れる機会が多くなって良いことだと思う。最近のブームでもあるが、「イクメン」の父親の姿が休日多くみられる。三条市でも、絵本作家をよんだイベントを行っており、夫婦で訪れる人もいる。このブームに乗ってもう少し盛り上げれば、図書館の利用も増えるのではないか。「本を読め」といっても、なかなか子どもたちは読まない。本がある場所にいることが大事だと思う。本に触れる機会をいろんな角度から増やすべきだと思う。「図書館は良い子が行くところ」というイメージを取っ払ってアピールできたらいい。子育てをしている世代に発信して来てもらおう。集客しなければいけない。三条市は宣伝が下手である。正統派過ぎてつまらない。市民に配布するパンフレットもタイトルはもっとラフにして、正統派も大事だが、肩肘をはずらした方がいい。
事務局	そうしたものを計画に盛り込むということか。
宮島会長	「情報発信、情報提供」とか「さんじょう親子読書の日」などの項目に盛り込んだらどうか。
六原副会長	P T A行事だと父親も来る。行事などで、情報を発信する方法もいいと思う。「イクメン養成」をタイアップするとか、いろいろ連携した方がいい。この計画(第1次)を見ていても、どのくらいの人が読むのか疑問だ。もっと、手に取る内容にして欲しい。
宮島会長	パンフレットも大人しい。「読みたい」という目線で検討してもいいのではないか。

五十嵐委員	文字の物は、2割しか読んでいない。印刷物ではなく、文化祭の時に直接話をするとか、誘い合って行けるようなものもいい。パンフレットも飛び付くようなキャッチフレーズがいい。
田村委員	家庭教育の黒川伊保子先生が「早寝、早起き、朝ごはん」その次に「読書」といっている。アクションもいいが、私たち保育所では、草の根的に保護者からは見えないところで読書活動をやっており、図書館から毎月100冊の本や紙芝居を借りている。学校で朝読書をしていると聞いて驚いた。自分の子どもの時にはそのような活動はなかったが良いことだと思う。また、アンケートの15ページの「読み聞かせの場所」について学校が一番多く、保育所や幼稚園があまりなかった。就学前で覚えていないというものもあるのかもしれないが、残念に思った。ひとつ質問したいが、「ブックスタート」の本の選定方法についてどのようにしているのか。
事務局	ワーキンググループを年2回行っている。次年度の本や、配布方法などを検討している。今、現物をお持ちする。
五十嵐委員	先程の「成果と課題」のところで事務局から話があった、調べ学習の利用の減少についてだが、これは、今年度から、総合学習の三分の一を英語に使うしなければならなくなったことで、調べ学習の時間の確保が難しくなったことが原因の一つに挙げられる。もちろん、インターネットの利用もあるかもしれないが、算数や国語の学習時間も増え、行事の時間が取れなくなっているのが現状だ。
小林委員	私は、色々な市町村で仕事をしたが、三条市は盛んな方だと思う。ボランティアの皆さん、保育所の方たちが一生懸命取り組んでいる。学校は数字のうえではやっているが、中身が大切で、まず、先生が読書をする姿を見せないといけない。子どもたちも多様で多忙。教師も忙しい。大人や教師が読書する姿を見せなければ、なにも変わらない。また、本は消耗品だと思う。たまに、自分が子どもの時にあったなという古い本が置いてあることがある。子どもが手にするような本を察知しなければいけない。子どもに向けた計画だが、大人が変わるような内容も盛り込むのがいい
宮島会長	その視点が盛り込めたら良いと思う。
高橋委員	住んでいるところが保内地区なので図書館は遠くてなかなか行けない。子どもが小さい時、読み聞かせ会にも行きたいと思ったが、土曜日の開催が多く、働いているため、土曜日にも仕事で行くことができなかった。自分のような仕事をしている保護者は行きたい気持ちはあるが、自分の行ける時間帯を見つけるのが難しい。結局、本屋さんに行って買ってきて読み聞かせている。また、中学生の朝読書が100%ということが不思議に感じた。身近にいる中学生はゲームの攻略本を読んでいる姿しか見たことがない。

宮島会長	調査の 100%の数字が形だけになっているのではないかという懸念か。
小林委員	休み時間に図書館で本を読む、本好きな子どもも実際には沢山いる。中学生の朝読書も小学生と同じで、好きな本を借りたり、家から持ってきて読んでいると思う。朝読書の時間に決して攻略本は読んでいない。
六原副会長	本を読む時間を作ってくれるのはいいことだと思う。小説などを読む時間を作って、そこで先生がお薦めの本を通信してくれる。忙しい時間の中 100%の中学校が時間を作っているのはいいことだ。
宮島委員	その時間がなければ本を手にとらない。読んでいる他の子の姿を見るのもいいことだ。
高橋委員	自分が中学生の時は、学校の図書館は入りにくい場所だった。入ったら静かにしていなければならない。もっと入りやすいところだったらいい。先生の話は子どもたちも聞くので、先生からお薦めの本を紹介してもらいたい。
宮島会長	他になければ、議題 5 の第 2 次計画における基本方針についてお願いしたい。これについて意見や質問をお願いしたい。
六原委員	新潟県の子ども読書活動推進計画にそった形がいいのか。
事務局	そのように考えている。県全体の目標値もあるので、踏まえていただきたい。なお、この短時間ではなかなか、難しいと思われるので、大変申し訳ないが、今、用紙をお配りするので「盛り込むべき基本方針」について記入していただき、11月30日までに、郵送かファックスでご返信いただきたい。それらのご意見に基づき、作業部会で計画案を検討していく。
宮島会長	次回の日程について事務局から連絡があるか。
事務局	今回は、1月下旬を考えている。
	(意見)
事務局	では、1月28日(金)午後2時からこの会場ということをお願いしたい。
宮島会長	以上で、第1回 三条市子ども読書活動推進計画策定委員会を閉会する。